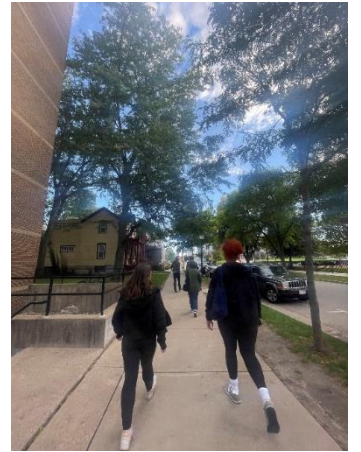




Think Globally! Challenge for your Career!

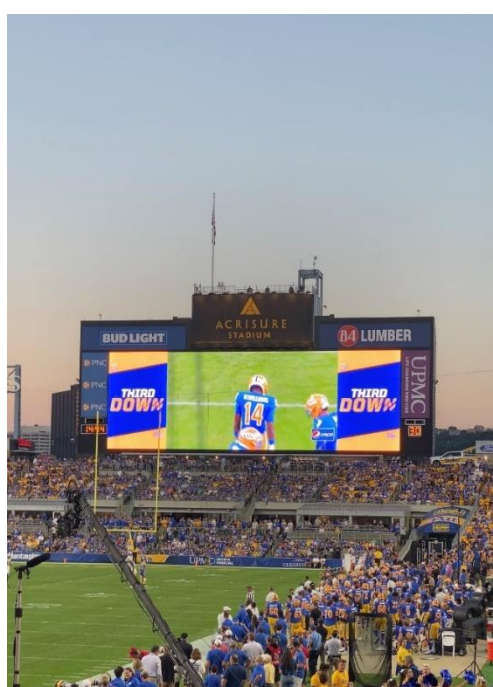
外国留学中間レポート



留学中のみんなから、中間レポートが届きました!



2022 FALL 発行



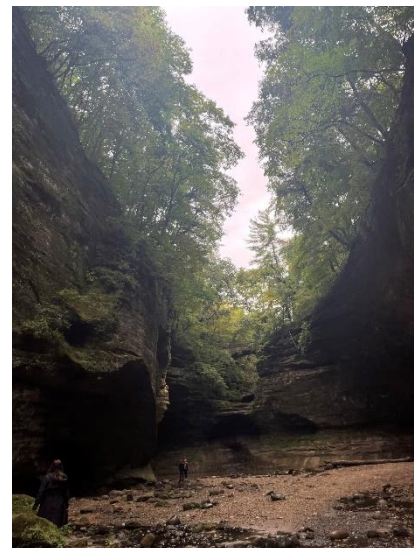
外国留学中間レポート 2022 FALL

目次

イリノイ大学(アメリカ)	
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年	2
ウイーバー州立大学(アメリカ)	
経営学部 経営学科 4年	3
マネジメント創造学部 特別留学コース 3年	4
ピッツバーグ大学(アメリカ)	
経営学部 経営学科 4年	5
ハワイ大学リーワードコミュニティカレッジ(アメリカ)	
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年	6
ビクトリア大学(カナダ)	
マネジメント創造学部 マネジメントコース 4年	7
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年	8
文学部 英語英米文学科 3年	9
文学部 英語英米文学科 3年	10
経済学部 経済学科 3年	11
経営学部 経営学科 3年	12
カールトン大学(カナダ)	
経営学部 経営学科 4年	13
文学部 英語英米文学科 3年	14
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年	15
リーズ大学(イギリス)	
経済学部 経済学科 3年	16
マードック大学(オーストラリア)	
マネジメント創造学部 マネジメントコース 4年	17
漢陽大学(韓国)	
経営学部 経営学科 4年	18
経営学部 経営学科 3年	19
マネジメント創造学部 マネジメントコース 3年	20
東義大学(韓国)	
法学部 法学科 3年	21

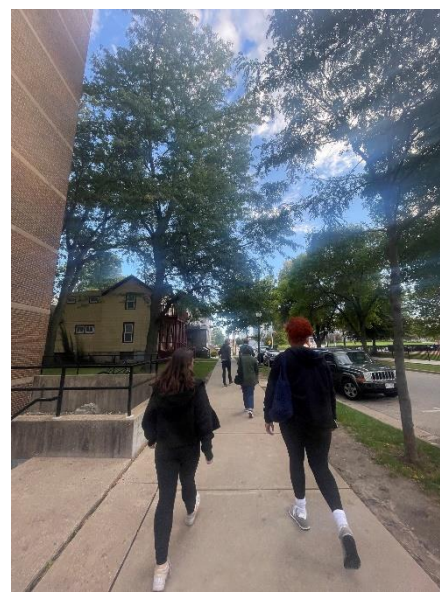
イリノイ大学（アメリカ）
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年
【交換留学】留学期間：2022年8月～2023年5月

留学が始まり、約2ヶ月が経ちました。寮生活にも慣れ、1日の時間の流れがとても速く感じます。日本に比べてシャンペーンは一日一日の気温差が激しいので、毎朝天気予報を確認して、体調管理に気をつけています。シャンペーンに着いたばかりの頃は、初めての寮生活で慣れない事が多く、多くのことに戸惑っていましたが、ですが、分からないことがあれば、ルームメイトや周りの人たちが教えてくれるので、躊躇せずに色々質問出来るようになりました。



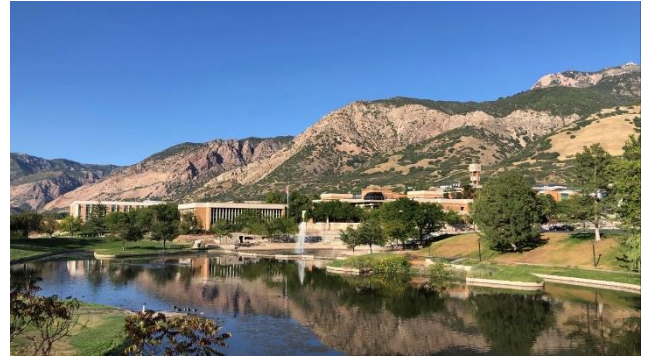
秋学期は、心理学の講義を4つ履修しています。その中でも私が一番興味深いと感じている講義は、”Intro Social Psych”です。この講義では、私達の感情や無意識にとっての行動について学び、3つのチャプターごとに小テストをして知識を深めます。やはり、第一言語ではない言語で講義の全てを理解する事は難しく、秋学期が始まったばかりの頃は、心が折れていました。しかし、一度小テストを受ければ、各クラスの教授の出題方法が理解でき、自分の勉強方法を確立することが出来ました。教科書の専門用語は、一度日本語で理解してから英語で覚えなくてはいけないので、予習や復習に多くの時間を割いていますが、小テストで良い点数を取ると達成感があるので、最初の頃よりは勉強が楽しくなってきました。

私は、英語力を上達させることを第一目標として、今回の留学に参加しました。ですが、交友関係を広げ、大学生活を充実させるために必要なのは英語力ではなく、積極性とコミュニケーション能力だと感じました。自分の内向的な性格もあり、常に待ちの姿勢で、自分から話しかけることに慣れていませんでした。しかし、一度躊躇せずにバスで隣に座った人に喋りかけると、優しく喋ってくれました。今では、その女の子が一番仲のいい友達です。失敗も含め、経験は自分自身を強くし、成長させるのだと改めて感じました。残すところあと8か月になりましたが、積極的に自分から話しかけて、交友関係を広げ、大学生活を充実させたいと思います。日本に帰ってから後悔しないよう、アメリカでの生活を楽しまたいです。



ウィーバー州立大学（アメリカ）
経営学部 経営学科 4 年
【交換留学】留学期間：2022年8月～12月

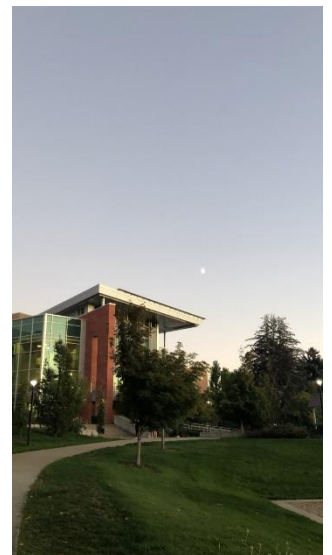
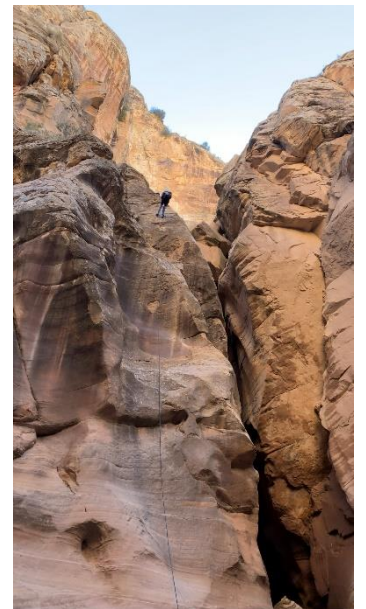
ウィーバー州立大学は、ユタ州北東のオグデンにあります。オグデンは山に囲まれた地形で、寮や大学から壮大な山を眺めることができます。ダウンタウンへは Bus Pass を使って無料で行くことができます。毎週土曜日に開催される Farmers Market などを訪れることができます。また Front Runner という電車も無料で、他の市に移動し大きなモールで買い物をすることも楽しみの一つです。気候は非常に乾燥しており雲一つなく、標高が高いため夏は肌が焼かれるような感覚になります。秋は朝昼晩の寒暖差が激しく、服装の調整が難しいです。治安は非常によく、温厚な人が多いため穏やかに生活できます。



キャンパスは非常に設備が充実しており、清潔で綺麗です。アメフトやホッケーのスタジアム、アウトドア施設、ジム、ボウリング場やコンサートホール、ショップなどがあります。また大学主催の無料イベントが多く、スポーツの試合やコンサートも無料であるため、学内だけでもかなり楽しめます。私はパーティーやローラースケート、アメフトの試合観戦などに参加しました。大学のアウトドアプログラムも充実しており、私は2泊3日のキャンピングに参加しました。雨や雹に巻き込まれたり、それによる水位の上昇を受け着衣水泳をしたり、脱出のためにクライミングをしたり、キャンプに戻れず野宿したりと、人生で最も過酷な3日間でした。しかしスタッフの方々や参加者の学生が助けてくれたため、大きな怪我もなく無事帰ってくることができました。想定外の出来事の連続でしたが、二度と経験できないような貴重な体験でした。

大学に近い寮である Wildcat Village は、3棟それぞれ設備などが異なります。私の住む Stewart Wasatch Hall はメインの施設で、ダイニング、売店、ホール、Housing Office、ジムなどが完備されています。SWH は部屋が広いためパーソナルスペースを確保しやすく、2人部屋でも快適に過ごさせています。ルームメイトはネパールの留学生であるため、つたない英語も理解してくれ、話も弾みます。ネパールのご飯やチャイティーなどの食文化も体験させてくれます。

授業は現在、語学系の授業とジェンダー、留学生のクラスを履修しています。中でもジェンダーの授業は専門的な用語が多く、かなり難しく感じます。一番好きな授業は韓国語の授業です。甲南大学で第3外国語として勉強したため中級を履修していますが、少人数のため質問や会話、発言がしやすいです。先生方は留学生に理解があり、いつも気にかけてくださいます。それでも日々課題に追われていますが、残り約2か月間ここでしかできない経験を積めるよう、今後も様々なイベントや行事に参加していきたいです。



ウイーバー州立大学（アメリカ）
マネジメント創造学部 特別留学コース 3年
【交換留学】留学期間：2022年8月～12月



アメリカ・ユタ州にあるウイーバー州立大学での留学生活が始まり1か月半が経ちました。毎日、美しい自然と人の優しさを感じながら過ごしています。大阪や兵庫の街中では見られない広い空に毎日癒されています。最近、キャンパスのすぐ横にある山の紅葉を見ることも日課です。

平日は毎日授業があり、授業後は日本語会話カフェに行くことが多いです。授業はほとんどが10人程度のクラスで、多くても40人のクラスです。小規模クラスで良いと感じる点は、先生だけでなくクラスメイトとの距離が近く、話す機会が多いことです。英語で行われる授業を理解するのはかなり大変ですが、クラスメイトが私のことを気にかけてくれたり、先生が私に発言するチャンスを与えてくれたりして、なんとか授業についていくことが出来ています。日本語会話カフェとは、日本語を勉強している学生と日本語の会話の練習をする場所です。日本語や日本の文化について英語で説明することが多く、難しいこともありますが、お互いに外国語を勉強できる素晴らしい機会です。また、アメリカの学生はとても優しく、私の宿題で分からないところがないか尋ねてくれて、質問をすると簡単な英語でゆっくり説明してくれて、本当に助かっています。

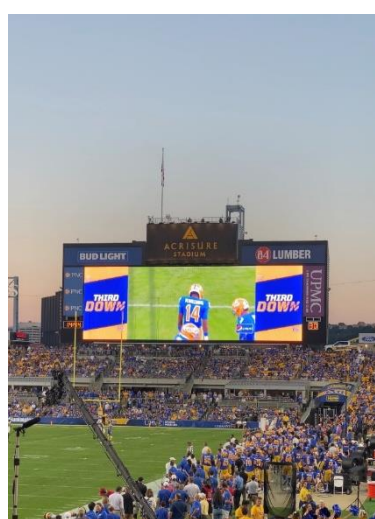
週末や時間のある時は、アウトドアプログラムに参加したり、友達とご飯を食べに行ったりしました。9月16～18日に行ったキャンピングではSan Rafael Swellに行き、日本のどこに行っても見ることはできないような景色を楽しみ、今しかできないであろう体験をしました。広大な土地と渓谷の美しさに圧倒されながらアクティビティをし、夜は360度満天の星空を見て楽しみました。プラネタリウムを見ている気分でした。レストランやショッピングに行くにも車が必要ですが、行ってみたいところやしてみたいことを快く受け入れてくれて、よく車で色々なところに連れて行ってくれます。アメリカ料理だけでなく、日本で食べられるものとは違う日本料理や中華料理のレストランもたくさんあり、いつも違いを発見しながら食事を楽しんでいます。

まだまだアメリカでしたいことがたくさんあるので、勉強とそれ以外の時間を有意義に利用し、様々な体験をしたいです。



ピッツバーグ大学（アメリカ）
経営学部 経営学科 4 年
【交換留学】留学期間：2022年8月～12月

8 月 14 日にピッツバーグに来ましたが、気候は 8 月でも暑く感じる
ことがない涼しさで、現在の 10 月は 10 度を下回るような寒い日が続いて
います。気温は基本的には低いですが、急に 20 度を超える日が続いた
り、天気予報に関係なく雨が降ることもあるので天気の予想は全くつき
ません。そんなピッツバーグは都会でも田舎でもなく、スーパー・公共
交通機関・娯楽・病院など生活に必要なモノはすべて揃っているので安
心して生活することができます。ただ物価は日本と比較すればかなり高
く感じるので、生活に必要なモノは現地で購入するよりも日本から持っ
てきておくべきでした。



学業に関しては、マクロ経済学の授業を 1 つ、そして英語の授業を 3 つ、合計 4 科目
履修しており、毎日これらの課題やプレゼンの準備をしています。マクロ経済学の授業
は講義を週 2 回、理解を深めるための TA との少人数授業が週 1 回あり、これに合わせて
課題が課されます。課題はネット上で何度も解くことができる問題集が用意されて
いますが、課題に沿って教科書をひたすら読むだけというわけではなく、動画や図を用
いた解説も用意されているため内容が非常に理解しやすく作られています。この課題
を授業の前に済ませて知識を持っておくことによって授業での理解が深まります。

日本の学生と大きく違うと感じた点は、聞くことに対する
姿勢です。教授に対して講義中であっても、少人数の授
業中であっても現地学生は分からないことがあれば戸惑う
ことなく質問して理解するまで聞いており、見習わなけれ
ばいけないと感じている点でもあります。また私の場合は



3 月に卒業を控えているため半期留学を選択しましたが、1 年留学の場合は春学期に 4
科目全て専門科目の授業を履修できるため 1 年留学を選択すれば力はかなり付くと思
います。

日常生活では、午後 6 時頃までは学業に時間を使っており、その後はルームメイト
とジムで筋トレ・ボクシング・バスケットボール・ビリヤードなどを行っています。その後は参加
しているラグビー部の練習が 8 時から 10 時までであるので、50 人くらいの仲間と練習
に参加しています。練習後にチームメイトと夕食を食べた後は寮に戻り、寝るまでの
時間を自由に過ごしています。

ハワイ大学リーワードコミュニティカレッジ（アメリカ）
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年
【奨励留学】留学期間：2022年8月～2023年5月



留学に出発してから早くも2ヶ月が経とうとしています。コロナ禍ということもあり、まだキャンパス内は閑散としていますが、ありがたいことに全ての授業を対面で受講させていただくことができおり、教室内でのマスク着用のルールも先日希望者のみの着用に変更されました。この留学プログラムは奨励留学でありながらも現地の授業も受講することができるプログラムのため、今学期は英語のクラスに加えて、他の履修科目には留学前より受講を希望していたHawaiian Studies、そしてハワイ語の授業を受けています。

Hawaiian Studiesのクラスは、ハワイの文化や歴史、Pacific Oceanの島々の神話等、とても興味深い内容が多く、ハワイでしか学ぶことのできないハワイの人の考え方や歴史の見方などを学んでいます。毎授業、課題として出されるリーディングの内容についてのディスカッションが行われるため、自分の意見をしっかりと用意してクラス内で発言することの大切さ、グループ内で意見の共有をすることの大切さをあらためて学び、また、授業ごとに発言を繰り返すことで英語力の伸びも実感しています。ハワイ語の授業では、単に語学だけでなく、加えてハワイの方々の生き方や文化も共に学ぶ

ことができるためとても面白く、また、他の語学を英語で学ぶことで新たな英語の学びにもつながっていると感じています。

英語に関しては、とにかく話す！ということを目指して過ごしています。ハワイなのでやはり日本人は多いですが、リーワードコミュニティカレッジは日本人生徒が比較的少ない大学なので、ハワイにある他の大学と比べて他国の留学生や現地学生ともお友達を作りやすい環境なのではないかなと思います。中には日本人のお友達もいますが、英語を話してもらうようお願いしたり、自分から進んで違うコミュニティに入るなど、自分で環境を作ることによって英語をたくさん話せる機会を作ることができました。

コロナ禍で、周りに知り合いが1人もいない状況での留学ということで最初は不安もありましたが、ホストファミリー、友人にも恵まれ、休日是一緒にハイキングをしたり、海で遊んだり、また、フラのレッスンを受けたりと、大学以外でも楽しい日々を過ごしております。残りの7ヶ月間も楽しみながら多くのことを学び、日本に持ち帰ることができるよう1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。



ビクトリア大学（カナダ）
マネジメント創造学部 マネジメントコース 4年
【交換留学】留学期間：2022年8月～2023年4月

ビクトリア大学に来て早2ヶ月が経ちました。8月はキャンパス内にある English Language Centre というところで英語を学びリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの4技能を集中的に勉強しました。クラスはLevel1から4までに分かれておりLevel4クラスでは意見を述べる機会が多くありました。また、このプログラム参加学生は日本人が多く、今置かれている環境でどのように英語を伸ばすことができるのかと悩みましたが、やはり主な方法は英語で会話をする事です。勿論、英語学習方法は人それぞれですが、私は夏の間にスピーキング力とコミュニケーション力を少しでも上達させたかったため、英語で話しかけ、同じ目標を持っている学生が自然と集まり、最終的には新しくできた友人達と授業時間外でも英語で話し、新しい単語やフレーズを教えあったりと日本人同士であるから、スピーキングレベルの差が大きいからこそできた英語の学習方法も発見しました。



9月からは交換留学生として現地の学生とともに授業を受けています。今学期は4科目を履修していますが、選択する授業によって学生、クラスの雰囲気、課題の内容や量は異なります。ここで感じたことは自分に合った、一番効率の良い勉強の仕方考えることです。当たり前のように感じますが、自分の現在のキャパシティと理解力を深めるためにはとても重要なことだと思います。また現地の学生はしっかり自分の意見を持っています。一度ディスカッションを経験した際、一言も発言できずに終わりました。当時はとても悔しかったですが、この状況を変えるにはどのようにすれば良いのかと考え、課題のやり方を変えたり、ディスカッション中に使えるフレーズや意見を言うタイミングを上手く掴むなどをし、二回目は満足いくものにできました。

ビクトリア大学は学ぶ機会も多く、多様なバックグラウンドを持った人と出会うことができる場所でもあります。それを自分のものにしていくためには行動力が必要です。カナダの人はとても優しく、多様な文化を認め合い、正直英語のスキルはあまり関係ありません。しかし自分がどのようにその人とその

コミュニティには入っていき、充実した時間を過ごすことができるかどうかは自分次第です。良くも悪くも自分の行動で留学生活は大きく変わると思います。留学は始まったばかりですが、これからより大きく成長していくためにも自分をもっとよく知り、思考錯誤しながら精一杯頑張っていきます。



ビクトリア大学（カナダ）
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年
【交換留学】留学期間：2022年8月～2023年4月

私がビクトリアに来て、約2か月が経ちました。最初は初めての海外ということもあり多くの不安があったものの、今では少しずつこちらの生活にも慣れてきました。ビクトリアに来て大学の学期が始まる前に、3週間の語学プログラムに参加しました。そのプログラムでは日本人が約9割、韓国人が約1割と比較的日本人が多く、英語で話す機会を作りにくい状況でした。また授業は毎日昼までだったので、勉強漬けとはいえない状況でした。ただ、午後からの様々なアクティビティを通し多くの友達ことができました。特に、私は韓国人の友達とよく行動を共にしていたので自然と英語を使う機会が増えました。それを通して文化の違いを感じることができ貴重な経験になりました。今考えると、この経験があったおかげで英語に慣れることができ、英語でもコミュニケーションをとることができるという自信につながりました。

3週間のプログラムの後は、いよいよビクトリア大学での授業が始まりました。授業が始まってすぐに私が思ったことは、授業内容を理解することの難しさです。特に、私がとっている言語学の授業では専門用語を頻繁に使うので、授業内容を理解するのがとても難しいです。そのため、今では授業後に担任の先生に質問をしながらコミュニケーションをとるようにしています。

クラスメイトやルームメイトにも助けてもらっている状況なので、早くネイティブの英語にも慣れるように、できるだけ英語に触れていこうと思います。例えば、ルームメイトの2人が英語を母国語として話す人なので、家にいるときも常に英語を使っていこうと思います。

留学は楽しいこともありますが、しんどいこともたくさんあります。文化の違いや言語の違いで、もうすでに色々な苦労がありました。でも、留学をしているからこそ、こういった貴重な体験ができています。日本に帰国するのは4月末でまだまだ時間があるように感じますが、より多くのことを経験して帰りたいので気を引き締めて頑張っていこうと思います。また、日本に帰ってから多くの人に留学の経験を共有していきたいです。



ビクトリア大学（カナダ）
文学部 英語英米文学科 3年
【交換留学】留学期間：2022年8月～2023年4月



カナダのビクトリアに来て約2か月が経過しました。ビクトリアは今のところ気候が穏やかでとても過ごしやすく、絵に書いたような美しい街や、息を呑むような自然の景色も楽しめる素晴らしい場所です。ビクトリア大学には様々なバックグラウンドを持っている人がいるので、生きた英語と共に多様性を存分に体験することが出来ます。またキャンパスも甲南大学に比べると広大で、設備の整ったジムもあります。

8月の3週間は語学学校に通い、9月からビクトリア大学で現地の学生と一緒に授業を受けています。語学学校では午前中に授業を受け、午後は語学学校が主催するイベントに参加したり、友達と出かけたりして過ごしていました。語学学校での授業の難易度は高くなく、生徒も日本人がほとんどだったので不自由なく、楽しい思い出ばかりでした。しかし、9月からの大学での授業は今のところついていくのに必死で、休日に丸1日勉強していることも少なくありません。



こちらに来て気づいたことはまず、物価がとても高いことです。買い物に行くと毎回値段を見て驚いてしまいます。自炊をしていますが、それでも食費にもかなりの額がかかってしまうので必要以上のものは買わず、必要なものでもルームメイトと共有するなどしながら節約しています。また、コミュニケーションに関しても、日本で悔いのないくらい英語を勉強していたにも関わらずかなり苦労しています。

英語の速さだけでなく、使われている英語も日本ではあまり馴染みのないものも多いので、何度も聞き返したり、意味を自分で調べたりしながら理解しています。

私は現在3人のカナダ人のルームメイトと共に寮で暮らしています。彼らは皆とても気さくで、私の拙い英語を気にも留めず接してくれ、週末には遊びに連れて行ってくれたりもします。最低限のルールや掃除の分担は自分たちで話し合っ

て決めて、何か問題があればきちんと話すことにしているのでかなり快適に暮らしています。最初は彼らの速い英語やスラングなどが理解できず、言っていることもほとんどわかりませんでした。顔を合わせたときに少しでも会話をすることを意識していると少しずつ聞き取れるようになってきました。



海外に住むのは私にとってこれが初めてなので、新しいことばかりで目まぐるしい毎日ですが、限られた期間の中で、多くのことを学びたいと思います。

ビクトリア大学（カナダ）
文学部 英語英米文学科 3年
【語学プラス交換留学】留学期間：2022年4月～12月

ビクトリアに来て半年が経ちました。今まで1度も実家・両親から離れて暮らしたことのなかった私にはこの留学は人生の中で最も大きな挑戦でした。飛行機に乗った瞬間、涙が溢れてきて止まらなかった出国の日が懐かしいです。正直、カナダについてばかりの頃は不安しかありませんでした。しかし、今となってはその不安も留学の醍醐味だったのかなと思います。私の留学している都市、ビクトリアは町も人もゆったりとした雰囲気なのでこの半年間で怖い思いをしたことは1度もありません。特にこの町の好きなところはバスから降りる際、ほとんど全員がバス後方から運転手に向かって”Thank you!!”と叫ぶところです。ホストファミリーにそのことを伝えたところ、都会の方にはあまりこの文化は浸透しておらず、こんなに多数の人が叫ぶのはビクトリアくらいだそうです。



この語学プラス交換留学の制度を利用して4月から8月まではビクトリア大学の語学学校に通い、9月からはビクトリア大学の現地の学生と一緒に言語学・アジア文化・ヨーロッパ文化の授業を受けています。語学学校では様々な国から来た様々な年齢層の人々に出会うことができました。クラスメイトの何人かは自分の親世代で最初は驚きましたが、それとともに学習に年齢は関係ないことに気づかされました。先月から始まったビクトリア大学での学部の授業は予想していたよりもはるかに大変でした。特にリーディングの量が日本の大学や語学学校の授業で課されるものよりもずっと多く、また内容も専門的なためどうしても時間がかかってしまうのが今の一番の悩みです。現地の学生の勉強に対する姿勢には驚きました。授業中、たくさんの学生が先生の話の途中で何度も質問し、授業が終わってからも先生のもとに行き、質問します。また、学生の中にはキャリアを終えてから入学したり、いくつかの学部を掛け持ちしているという人もかなりいます。これは日本の大学ではめったに見ることのなかったことなので自分の中の常識が覆されました。



このような刺激的な毎日を過ごすことは後にも先にもこれっきりだと思っているので、今の自分ができる精一杯の努力をしてこの温かい町での残りの約2か月半を悔いのないように過ごしたいと思います。



ビクトリア大学（カナダ）
経済学部 経済学科 3年
【語学プラス交換留学】留学期間：2022年4月～12月

今年の4月からカナダ、ビクトリア大学に留学しています。4月から6月の終わりまではホームステイの形で滞在しながら、ビクトリア大学内の語学学校に通い、英語の文法、単語、その他、ベースとなるものをしっかりと学習しなおしました。そして、7月から8月の終わりまでの1カ月は、英語を勉強するプログラムに参加し、大学の専門科目を受けるための準備として、ベースを見直すと共に、さらに知識を増やすことに力を入れ、勉強しました。

留学を始める前に、英語の文法は一通り網羅したつもりだったのですが、これらのプログラムを通して、自分の欠けている所や十分でない点などをしっかりと見直すことができました。また、語学学校では、様々な国籍の方たちが勉強しており、英語だけでなく彼らの文化、考え方、言語も学ぶことができ、とてもいい経験が出来ました。

9月からはビクトリア大学で専門科目の勉強をしています。私は、心理学、人類学、パシフィックアジアスタディーズの3科目を履修しています。初めはやはり、現地の方たちの英語のスピードや授業での態度など、語学学校を通しては見ることはできなかった日本人とは違う面が多くみられ、圧倒されました。そのため、彼らが話しているようなスピードで話さないと会話のペースを崩してしまうなどと無意識で考えてしまうようになり、なかなか思うように話すことの出来ない時期もありました。しかし、そのような時に、第1言語が英語でない方が、その方のアクセントで、自分のペースで現地の方と会話を楽しんでいる姿を見た時があり、その際に、現地の人のようにならないといけないという考え方はなくなりました。カナダの人たちは周りになじむという事よりも自分を表現することに重点をおくということを現地での生活を通して学び、留学に来てから自分の考え方が180度変わったような気がします。現在では、第1回目の授業から徐々に慣れ始め、現地の方たちと一緒に勉強できるようにまでなりました。

現在は、中間テスト期間で、専門科目の勉強に追われている状態ですが、自分のベストを尽くし、日々奮闘しています。引き続き頑張ります。

ビクトリア大学（カナダ）
経営学部 経営学科 3年
【語学プラス交換留学】留学期間：2022年4月～12月



私は 2022 年 4 月から 12 月までカナダのビクトリア大学で語学プラス交換留学をしています。語学学校で英語を学ぶ期間の日程は終了し、現在は専門科目を学んでいます。

留学に来る前は、留学を通じて英語だけでなく、異文化を体得するというのが目的でした。異文化というのは主に、カナダに留学するためカナダの文化を意図していましたが、語学学校にいるクラスメイトや、ルームメイトなどとの関わりから様々な国の文化を知り学ぶことができました。特に 4 月



から現在 10 月までホストファミリーであるカナダ人と、ルームメイトの韓国人とコロンビア人とともに生活することによって、異文化を体得できたのではないかなと思います。文化の違いで驚くことは少なくありませんが、カナダ人や他の国の人が、日本についての知識や興味があることに驚きました。現に、一緒に暮らしているコロンビア人のルームメイトは、マイナーな日本のアニメを自分に薦めてくるなど、日本人である自分よりもアニメに詳しいです。また大学で日本語を専攻している学生、日本に在住した経験がある人、日本に興味がある街中の見知らぬ人なども話しかけてくることがあるので、英語の勉強としてだけでなく、いい経験ができます。カナダ人であるホストファミリーには、キャンプやコンサートに連れて行ってもらい、家に友達を読んでパーティーをするなど、様々なことを経験させてもらっています。

英語については、学校で勉強することによる上達以上に、ホストファミリーと日常生活をともにすることや、レストランで注文することなど、日々何気ないところで英語を使うことによって、体得できているのではないかなと思います。英語だけでなく言語を学ぶ上で最も重要であることは、話すことであると考えています。話すということは、相手の話を聞くことでリスニングの勉強になり、また新しい単語や表現を学ぶことも可能であり、話すことによってアウトプットができ、慣れることができます。



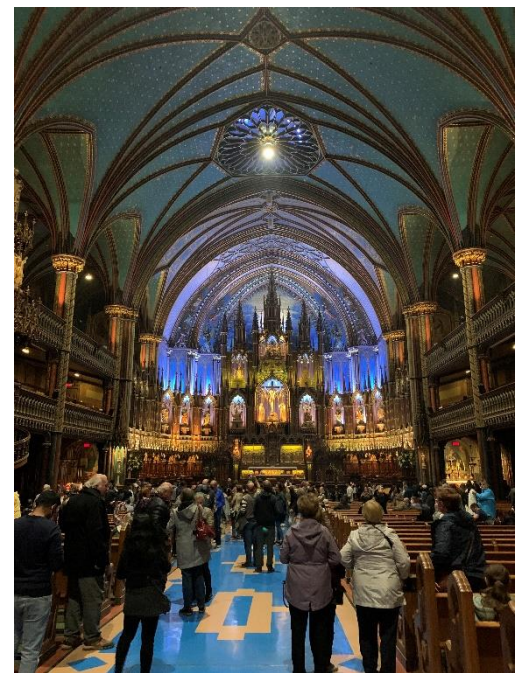
カールトン大学（カナダ）
経営学部 経営学科 4年
【交換留学】留学期間：2022年9月～2023年4月



現在、カナダに来て約1か月が経ちました。今はこちらでの生活にもだいぶ慣れてきましたが、初めの頃は想像以上のホームシックにかかり留学に対してネガティブになっていました。初めての海外での生活、初めての北米、（寮だったので）初めての一人暮らしなど自分には負担が大きかったのだと思います。さらに、寮にはマットレス以外布団やキッチン用具が一つもなく、それもまた精神的に追い込まれた一つの原因だと思います。最初は、買い物に行くだけでもバスの乗り方からバス停の場所などわからないことだらけでした。スーパーへの行き方を大学内の人やバス停にいる人に勇気を出して尋ねて助けてもらう中で、知らないことを知る楽しさに出会いました。それからは、知らないことを減らそうと様々なものにチャレンジする中でチャレンジすることに楽しさを感じるようになり、知らないことが減るにつれて生活の不安もなくなっていました。

国際交流センターのプログラムで友達になったカナダ人学生とも実際に会って遊ぶこともでき、現地でもたくさん友達ができとても充実した留学生活を送っています。最近では、テニスのコミュニティに誘ってもらい、テニスを通じて友達作りをしています。さらに、来週からは日本語を教えるボランティア活動に参加する予定で、日本でも好んで行っていた活動なのでとても楽しみにしています。

勉強面では、ESL と経営学の授業を取っているのですが宿題と周りの英語力についていくので毎日必死というのが現状です。留学に行く決心がとても遅かったこともあり、会話の練習自体は留学前約9か月だけだったのですが、想像以上に授業にも友達との会話にもついていくことができます。しかし、授業のディスカッションは難易度が高く、またマーケティングの授業でのグループプロジェクトなど日常会話と授業内での会話は全く別物だと感じています。ディスカッションもさらなる成長のチャンスだと思っているので背伸びせず自分の現状をよく理解しながら頑張っていこうと思っています。全く自分の英語力には満足していませんが、留学前に英語に打ち込んで本当に良かったと思います。今まで行ってきたインプットのおかげで、この1か月だけでも英語力の伸びをとて感じています。生活にも慣れてきたので、これからはもう少し様々なものにチャレンジしていきたいと思っています。



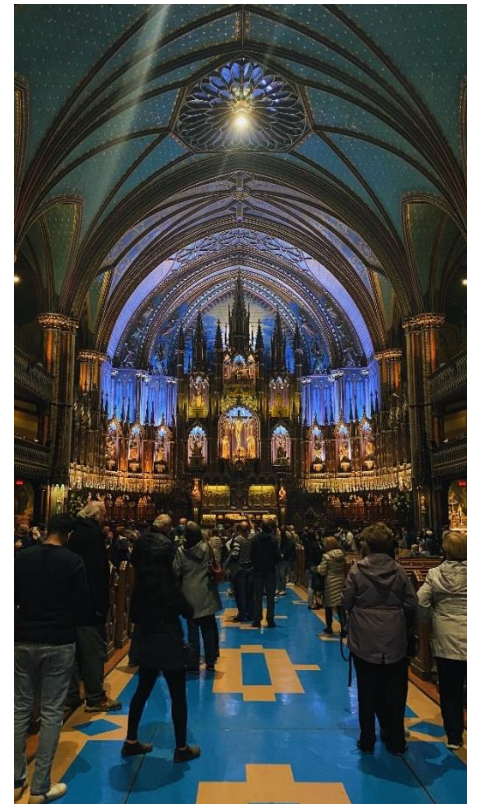
カールトン大学（カナダ）
文学部 英語英米文学科 3年
【交換留学】留学期間：2022年9月～2023年4月

カナダに渡航して約1か月が経ちました。もう1か月なのか、まだ1か月なのか、なかなか気持ちの整理がつかないのが現状です。以前は早く日本から出たいと思うことが多かったのですが、渡航寸前になると家族や友人と離れ離れになる寂しさや、1人で異国の地に行く不安でモチベーションの降下を強く感じました。

渡航後1週間は、机、引き出し、そして寝具のついていないベッドしかない部屋を充実させるために、定刻通りに来ないバスに1日に何回も乗り、生活用品を調達する日々を送りました。1つ1つの商品が大きく、リュックと小さなカバンしか持っていない留学生にとってはとても大変な買い出しでした。1年間一緒にルームをシェアする友達も続々と入寮し、渡航前にあった寂しさや不安もいつの間にか消え、現地の生活に馴染もうとする意思が芽生え、物理的だけでなく精神的にも充実感を覚えました。

2週間目には、新学期が始まりこれまででは考えられないほどの学生でキャンパスは溢れかえっていました。外の芝生では、学生がサッカーをしていたり、音楽を聴いていたり、勉強をしていたりと日本では見ることのない、新鮮な風景と雰囲気が広がっていました。その横には、リスやマーモットと呼ばれるビーバーみたいな見た目の動物や、ガチョウやカモメのような鳥など多くの動物が共存しており感動しました。授業に関しては、現地の学生と同じ授業を受けているため、教授の話す速度が速すぎて予習と復習なしでは全く授業についていけません。学業においては不安がぬぐい切れませんが、生活面においては余裕ができ、友人と大学の近くにある「居酒屋 信玄」というレストランに日本食を食べに行ったり、ランチに行ったりと、外食する機会も増えていきました。

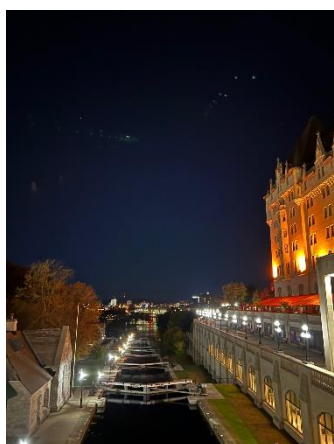
3週間目は、あまりにも友達ができないことに不安を感じ、カールトン大学の International Student Service Office (ISSO) の提供しているイベントに参加し、ダウンタウンにあるミュージアムに行きました。そこで知り合った人たちと外食に出かけ、友好関係を築くことができました。



この1か月はなかなか思い通りの生活ができなかったのですが、この経験を踏まえ今月からは自分の理想の留学生活に近づけるように努力し、ただ経験するだけでなく、自分が主体になり何かを行うことに重点をおいて生活していきたいと思います。

カールトン大学（カナダ）
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 2年
【交換留学】留学期間：2022年9月～2023年4月

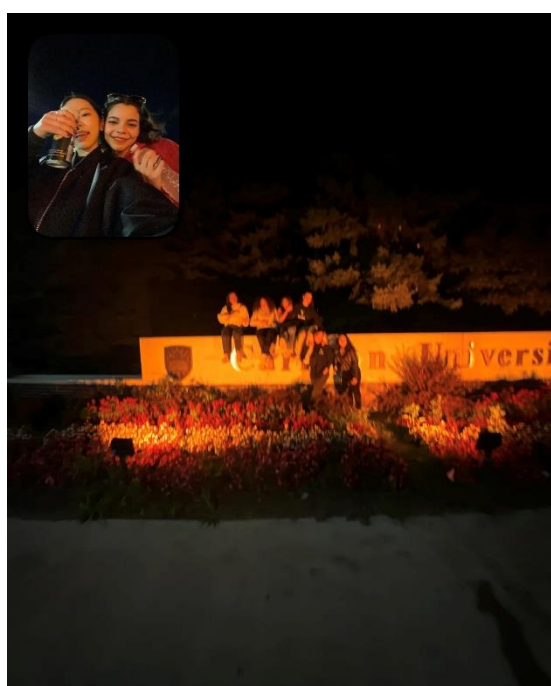
9月にオタワに到着し1ヶ月が過ぎました。季節が夏から秋、秋から冬に移行していくのをキャンパスから見える雄大な自然と共に感じています。オタワはカナダの英語圏とフランス語圏の境目に位置しているため、エレベーターの案内アナウンスや標識は全て両言語で表示されており、独特な雰囲気のある都市です。都心部には多くの歴史的建造物、美術館や博物館などがあり、文化度の高さに感心しています。美術館や博物館は学生割引が使えるため、友人らとよく休日に訪れています。また、自然も豊かで、ユネスコの世界遺産に登録されているリドー運河や大学の近くにある湖も美しく、日本ではあまり触れることはできない自然に触れ、とても癒されています。



寮生活では、4人の suitemate と賑やかに楽しく過ごしています。他3人は正規学生ですが、私を含め全員留学生で文化の多様性を寮生活でも感じています。休日は suitemate と出掛けたりすることが多く、仲を深めています。10月末にある Reading Week では友人らとモントリオールに小旅行に行く計画を立てています。また、私の寮にはキッチンがあるため手料理を振る舞ったり、Thanks Giving ではテーブルセッティングをしてミールパーティをしたりしました。私は suitemate に恵まれたため問題は起こっていませんが、他の部屋では文化や習慣の違いによって喧嘩が絶えなかったりするそうです。この留学生生活を機に、お互いの生活をリスペクトしあい、サポートしあったりする思いやりの大切さを学びました。

学習状況ですが、私は3科目しか履修していないのにも関わらず毎日課題や復習、試験勉強に追われています。授業は1コマ3時間あるため集中力を保つのに必死です。平日は友人と夜中12時まで図書館に缶詰になり勉強しています。日本と違い Teaching Assistant がいるため、サポートレクチャーやミーティングに参加し疑問点について聞けるため、授業についていけなくなることはないのが救いです。

私はこの留学で自分の生活や人生への責任感を持つ重要性を学びました。皆それぞれ自分自身に集中していて、生活を楽しみながらも将来に向け行動しており、少し焦りさえも感じるほどです。ですがまだ1ヶ月なのでこれから起こること全てに期待し、有意義に過ごしたいと思います。



リーズ大学（イギリス）
経済学部 経済学科 3年
【交換留学】留学期間：2022年7月～2023年6月



イギリスに来て早2ヶ月が経ち、今月で3ヶ月目に入ります。慣れないことばかりで戸惑う毎日ですが、この2ヶ月もすぐに過ぎてしまったのでこの調子で行けば一年なんてあっという間だなという風に感じています。

最初の1ヶ月は語学学校に通い、もう1ヶ月は夏休み、そして今月からはいよいよ交換留学部分である大学の授業が始まるといった形です。語学学校も語学学校の際に居住していた寮も全員が東アジア人で、友人を作るのも容易であり、あまり留学したという実感は湧いてきませんでした。しかし交換留学部分の寮に暮らしているのは語学学校の時の寮と違い、私以外ほとんどが英語を母国語とする人たちでした。そうでない人たちも正規生として1年前から居住していたり、母国でインターナショナルスクールに通っていたりと英語を難なく話す人たちで、そんな人たちに囲まれて始まった寮生活は想像以上に苦痛でした。フレッシュャーズウィークで本格的に大学の授業が始まるまでの1週間は毎日寮のコモンルームでパーティーが開かれました。誘ってくれるのが嬉しく、快く参加するものの、ネイティブスピーカー達の英語のスピードについていくのが精一杯で、何を話せば良いのか分からなくなりました。

日本にいる時は人と仲を深めるまでそこまで時間がかからないのに対し、英語となると自分の性格を言語に乗せて表現するのが難しく、かなり苦労しました。出身や名前、専攻などの基本的な情報交換の後の会話が特に苦痛でした。自分のアイデンティティは言語があって初めて表現できるものなのだと感じました。

ただ、寮のメンバーが大変優しくったのが救いでした。私の足りない英語力でも理解しようとしてくれ、積極的に集まりに誘ってくれるのでこの寮を選んでよかったなと感じます。リーズ大学には日本ではありえないほどの人種が混在しており、様々な国の友人ができました。様々なルーツを持つ人たちと仲良くなれるのは日本ではなかなかできないことなので毎日刺激をもらっています。

いまだに言語の壁は立ちはだかっていますが、同時にいよいよ留学だなという実感が湧き少しワクワクしています。大学の授業も始まるので、さらなる自分の成長を期待したいと思います。



マードック大学（オーストラリア）
マネジメント創造学部 マネジメントコース 4年
【交換留学】留学期間：2022年2月～11月

留学期間も残すところあと数か月になってきました。これまで学習において、そして日常生活におけるその他の様々な課題にもぶつかってきました。

学習においては、毎授業に対してどれだけしっかり予習できるかで授業への理解度が変わります。ただ、その予習では様々な新しい単語や知識が出てくるため、読んでいても一回一回読むのを止めなければならない、それだけ集中力が必要になる作業になります。そのため授業が終わってから、次の授業までの1週間を利用して、1日少しの量で計画し予習を進めていくことで授業内容をしっかり頭に入れることができるように工夫しました。そうすることで先生の質問に対しても答えることができ、グループワークにも積極的に参加することができました。



日常生活における課題としては複数人と話す場合に話に入るタイミングが分からない点がありました。集団で話していると話は聞き取れたとしても質問を英語に変換している間に次の展開へ話が進んでいたりしてなかなか話に入れずニコニコしているだけで気づいたら会話が終わっているということがよくありました。しかし、そういった状況にも慣れてきて会話へ入るときのフレーズを決めておくことで対策するなど解決策を考え出すことができました。

こちらでは、授業においても日常生活においても自分の意見を求められることが多いです。オーストラリアでは挨拶のように今週のことについて聞かれ、どこかで遊んだのならその感想が求められます。日本では自分がどのように1週間を過ごしたかなどを関係のない人に話すという習慣が全くありませんでしたが、オーストラリアでは自分の話を赤裸々にシェアします。今週何をしたかと聞かれたとき、一言感想を返すだけだと一瞬で話は終わります。現地の人たちの会話を観察して真似していく

ことで私が学んだのは、聞かれていなくても自分の思い出話や感じたことを細かく話すことが求められていることです。オーストラリアの人たちは本当によくしゃべります。話す必要がないことでも話すのがここでの日常なのだと思います。

これからも試行錯誤しながら、身の回りから学んで課題を乗り越えていきたいと思っています。



漢陽大学（韓国）
経営学部 経営学科 4年
【交換留学】留学期間：2022年2月～12月

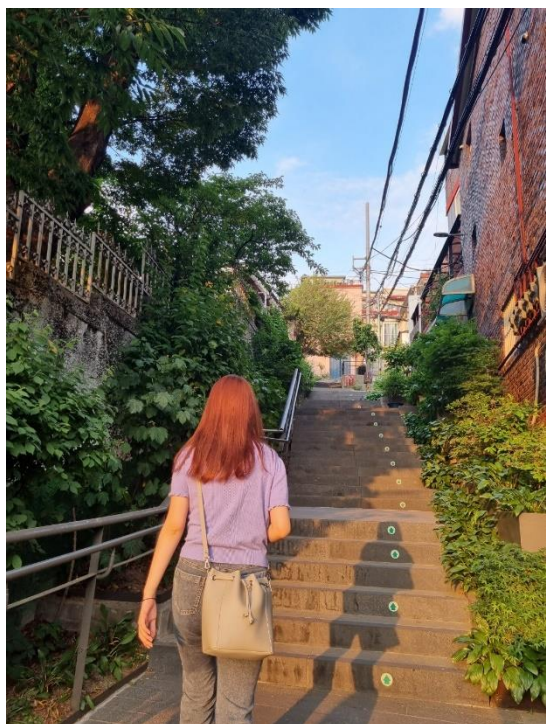


10か月あった留学期間もあっという間に過ぎてしまい、あと残り3か月を切ってしまいました。来てすぐのころは、初めて親の元を離れて生活することに不安を抱いていましたが、すぐに環境に慣れることができ、毎日楽しく過ごしています。韓国へ来て出会った人たちとの別れがすでにさみしく、日本に帰りたくないなと思ってしまいます。帰ってから後悔をしないよう、残りの期間、充実した日々を送りたいです。

春学期は、語学堂に通い、韓国語を学んでいましたが、今学期は現地の学生と一緒に専門科目を受けています。経営学部なので、当初は経営や経済にまつわる科目を履修しようと考えていたのですが、それよりも、せっかくなら、こちらの大学で学べる授業を受けたいと思い、韓国の文字ハングルについての授業や、プログラミングの授業、ピラティスの授業など、自分の興味のある講義を履修しています。経営であれば、少し基礎知識もある状態ですが、他学部の授業を受けているので、基礎知識がなく難しいこともあります。しかし、留学にきたので、それらに関心を持つことができたので、新しいことを学ぶことができるのが嬉しく、楽しく学んでいます。

私は留学に来る前は、韓国語が完璧にできるようになることに執着していました。しかし、実際は、発音が難しかったり、上手く表現ができなかったり、ネイティブのように話すことは難しいです。ただ日本語でも、読めない漢字があったり、正しい敬語表現を完璧に使いこなせなかったりということを考えると、日本語でさえ完璧とは言えません。なので韓国語が完璧にできないことは、当たり前だと思えるようになりました。自分に100%を求めなくなったこと、100%でなくても大丈夫だと思えるようになったことが、留学にきて得た新たな気づきです。

また、一人でご飯を食べに行ったり、地方に行ってみたり、友達を作るためにサークルに入ったりと、日本にいたときの自分には想像もできないくらい「挑戦してみよう」と思うようになりました。何もせずに後悔するより、何かして後悔できるよう、残りの3か月間、様々なことに挑戦したいと思います。



漢陽大学（韓国）
経営学部 経営学科 3年
【交換留学】留学期間：2022年2月～12月

2022年2月に韓国に入国し、留学生活も残すところ約2か月となりました。9月中旬からすっかり秋の空気になり、肌寒い日が多くなってきました。そして、コロナウイルスに対しての措置が徐々に緩和され、漢陽大学のキャンパスはさらに学生が増え、活気にあふれています。9月1日から後期が始まり、毎日授業と課題をこなしながら、慌ただしく過ごしています。



後期は経営学部の授業4科目と、留学生専用の韓国の文化と歴史を学ぶ授業を受講しています。前期は語学堂で韓国語を学ぶことを主としていました。後期では、今まで学んだ韓国語を生かし、学部の授業を聞いています。韓国語で受ける授業は専門用語や、日常生活では聞きなれない言葉が出てくるため、非常に難しいです。授業中は、教授の話を理解するため、集中力が重要になります。また、私が今受講している授業の1つで、チームプロジェクトをメインとする講義があります。3～4人で1つのチームを作り、テーマに合う企業を選びます。そして、その企業を分析し、発表を行います。この講義では、チームの代表者だけで発表するのではなく、全員で発表を行うという決まりがあり、私も発表を行いました。韓国語で発表をすることが初めてだったため、たくさん準備をしました。完璧ではないですが、自分の納得がいく発表をすることができました。この発表で自信を持つことができたので、この授業を受講してよかったと感じました。



10月5、6、7日の3日間、漢陽大学では学園祭が行われました。5月にも行われたのですが、その時はいけなかったため、今回初めて、学園祭に参加しました。韓国の学園祭には、学校内にフードトラックや、学生たちが行う屋台があります。また、夜になると、お酒を飲める簡易的なお店が開かれます。そして、一番の目玉は、アイドルや、アーティストのステージが見られることです。今回、そのステージを見に行ったのですが、観客全員が一つになって盛り上がり、とても楽しい空間でした。このような韓国の大学ならではのイベントに参加でき、良い思い出となりました。

残りの留学生活では、勉強に熱心に取り組むことはもちろんですが、韓国に来て出会った人たちとの思い出を作りたいと思いました。悔いのない留学生活にするため、毎日を楽しみ、充実した時間を過ごせるようにしたいです。

漢陽大学（韓国）
マネジメント創造学部 マネジメントコース 3年
【交換留学】留学期間：2022年8月～12月

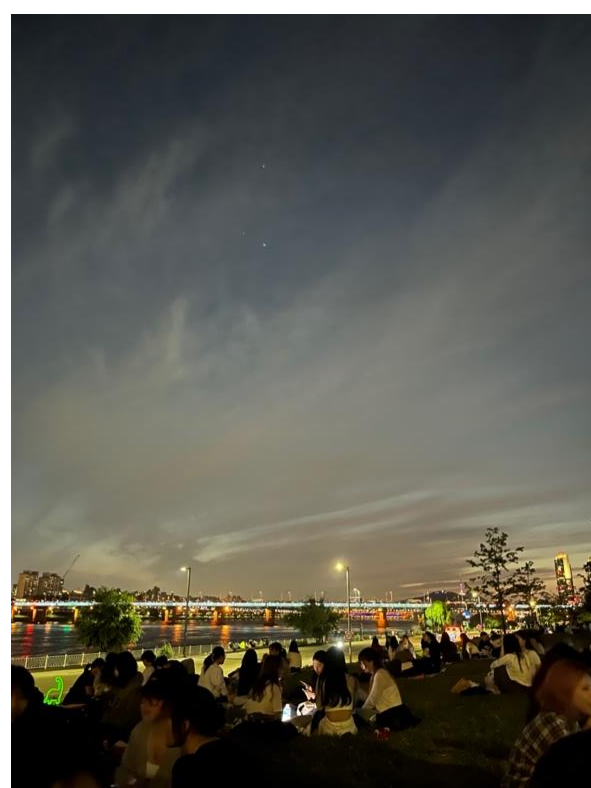
私は2022年8月の末に韓国に出発し、現在韓国のソウルにある漢陽大学に交換留学生として通っています。留学が始まって1ヶ月が経ちました。最初は慣れない地で一人行動をしたり生活用品を揃えたり、不安で大変でした。ですが、学部内にあるサークルに参加して友達をたくさん作ったり、ルームメイトと美味しいご飯を食べに行き、すごく充実した毎日を送っています。ルームメイトは台湾から来ているので、台湾の文化についてもたくさん教えてもらっています。生活では、日本と似ている部分もあり特に困ることはないですが、言語の壁にはやはりぶつかります。ですが、日常生活やルームメイトと韓国語で会話をするので少しずつではありますが、成長しています。



大学の授業では広告、企業戦略、メディアの文化についての授業を受けています。語学堂に通わずに最初から韓国語で専門的な知識についての授業を受けているため、韓国語を聞きながら理解するのはすごく大変です。なので、予習復習が必須になりますが、今まで日本からの目線で学んでいたものを韓国ならではの文化に触れながら勉強しているので、毎日新しいことに触れ、楽しく学んでいます。授業ではグループ発表があり、色んな国の友達と一生懸命韓国語で話し合いながら発表の準備をするので、達成感があります。また、韓国の方とグループになって発表する授業では発表に向けての姿勢が違うのですごく刺激を受けます。

授業がない日には、韓国でできた友達と色んな所に行き観光をしています。昨年、甲南大学から参加した漢陽大学オンライン留学で同じ授業を受けていた東京に住んでいる友達と韓国で会えたことは、すごく嬉しかったです。大学では日本人の友達もでき、数週間前に初めて会ったとは思えないほど仲良くなり留学生活を楽しんでいます。

留学生活も、もう残り2ヶ月半となりましたが、中間考査とチーム発表を控えていて忙しい毎日ですが、現在、大学では3日間にわたって芸能人も来る大きな祭りがおこなわれています。ストレス解消もしつつ、大学の授業も一生懸命取り組みたいと思います。



東義大学（韓国）
法学部 法学科 3年
【交換留学】留学期間：2022年8月～12月



韓国に来て1カ月以上が経過しました。私は、平日毎日9時から13時まで語学堂で韓国語の授業を受けて、午後には週2回、2時間ずつ留学生向けの授業を取っています。語学堂では、ガイダンスの日にクラス分けのテストがあり、その結果レベルの高いクラスに入ることができました。毎日初めて聞く文法ばかりで勉強は大変ですが、先生は理解できるまで丁寧に教えて下さるので授業はしっかりと理解できています。内容は難しいですが、その結果毎日必ず復習をする習慣ができました。

午後を受けている授業では、受講している日本人が私のみで、内容も語学堂より少し難しいので受講するか悩みましたが、「韓国語を勉強しに来ていて授業でわからないことがあるのは当たり前。失敗してもいいから色々なことに挑戦するのが留学。」という姉のアドバイスを聞いて挑戦しました。その結果、韓国語の勉強をする機会が増えて知っている単語も増え、モンゴル人や中国人など様々な国の留学生と友達になることができました。特に印象的だったことは、「このアニメ見たよ。」や「こんにちは、はじめまして」と日本語で話しかけてくれることが何度もあったことです。日本が好きと言ってくれる人が多く、嬉しい気持ちになりました。

また、韓国人学生の方がバディとして生活をサポートしてくれているので、わからない事や不安なことはいつでも聞くことができ、安心して生活を送ることができています。バディの方はただ必要事項のサポートだけでなく、遊びに連れて行ってくださることや勉強を教えてください、様々なことをしてくださるので本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私生活では、寮のルームメイトがフランス人ということもありフランス人の友達と行動をすることが多いです。ルームメイトとは、韓国語と英語を交えて話しています。そのため、韓国語だけでなく英語の力も伸びたように感じます。友達と毎日のようにカフェに行ってお勉強をしたり、週末にはショッピングをしたり、海やテーマパークにも行きました。釜山は海雲台や広安里といった海が有名で、山もあり自然が多い一方、釜山の中心地である西面も近いので、生活に不自由なく様々な体験ができます。



留学に来て最初は文化の違いに戸惑うことも多くありましたが、今は生活にも慣れて一人で行動することもできるようになりました。韓国は、日本に比べて車の運転が早く、少し荒いですが。ヘルメットなしでバイクに乗っている人を見かけることや一般車だけでなくバスなどもクラクションを頻繁に鳴らすため、最初は驚きましたがそれも日常となり、自分が韓国の生活に慣れてきたことを感じました。

留学前は外国での生活になじめるか、友達ができるか、勉強についていけるかなど不安でいっぱいでしたがホームシックになることもなく楽しく過ごせています。コロナ禍ということもあり気を付けなければいけないことは多いですが、留学に来て本当に良かったと感じています。